

事務事業実績測定調査

R5調書番号 145

事務事業名称	後期高齢者医療保険料徴収事務									
測定年度	2023(R5)年度		部	市民生活部		課	保険納付課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標		2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち							
	施策目標		6.誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち							
	実行計画名									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的事業	区分	非選択的事務事業
事業期間	2020(R2)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	高齢者の医療の確保に関する法律、高齢者の医療の確保に関する法律施行令、高齢者の医療の確保に関する法律施行規則、地方税法、国税徴収法等				
関係補助金名称			サンセット	～	
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	後期高齢者医療保険料の納付義務者			
	サブターゲット	後期高齢者医療保険被保険者			
	ターゲットが抱える課題	保険料の徴収を適正に行うこと			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	保険料を適正に徴収することで、公平性が確保され、保険事業が円滑に実施できている。				
事業概要	後期高齢者医療保険料の徴収に係る事務を執行する。 (1) 保険料の収納に関する事務(入金処理及び納付済証明の発行等) (2) 未納保険料に関する督促・催告発送処理事務 (3) 未納保険料に関する滞納処分及び納付相談事務 (4) 保険料の不能欠損処理事務 (5) 保険料過誤納金の還付・充当に関する事務 (6) 保険料の口座振替に関する事務				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム （活動効果）				アウトプット （活動結果）				インプット （活動）			
						保険料の現年度徴収率が高水準で維持される。				保険料の滞納処分等を行う。			
指標設定	指標説明					保険料（現年度賦課分）調定額に対する徴収済額の割合 【算出式：保険料徴収済額／保険料調定額×100】				滞納整理件数			
	指標種類				単位		%		単位		件		
					増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値					R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		目標 （見込み）				99.52	99.54	99.56	99.58	50	50	100	100
実績				99.65	99.65	99.66	99.71	19	32	50	50		
達成度						100%				50%			

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	1.66
再任用	1.06
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	1.75
特別職非常勤	0.12
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	25,142	26,357	18,446		
	会計年度任用職員	2,589	1,124	4,399		
	特別職非常勤	0	0	340		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	27,731	27,481	23,185		
歳入	物件費計	19,460	20,763	34,679	63,255	54.8%
	歳出計	47,191	48,244	57,864		
	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
歳入	府支出金	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	21,069	20,763	18,691	20,768	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	21,069	20,763	18,691	20,768	
一般財源（物件費に充当されるもの）		0	0	15,988	42,487	

5. 総括的分析

総括的分析	普通徴収の納付義務者への収納対策としてペイジー端末を導入するなど口座振替の推進を図った他、モバイルレジ等のキャッシュレス決済についても順次対象の拡充を行った。滞納への対策としては、令和5年度には督促及び催告書を目につきやすい色付き封筒で送付するなど工夫を行った。また、旧債権回収課と連携し困難案件については随時移管を行い滞納処分に繋げた。こういった取り組みにより収納率は高水準を維持できた。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	令和6年度より機構改革により他の保険料(国民健康保険料、介護保険料)と合わせて保険納付課として所管する。また旧債権回収課の事務も所管するため、これまでの収納対策に加え同課で培われた滞納整理のノウハウを生かし、効果的な催告書の送付や差押などの滞納処分に繋げていくことで、収納率の維持向上を目指す。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 932

事務事業名称	保険納付課運営事務										
測定年度	2023(R5)年度			部	市民生活部			課	保険納付課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		9.施策体系外								
	施策目標		99.施策体系外								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務	区分	庶務的内部管理事務
事業期間	不明	年度	～	年度まで	
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	保険納付課に在籍する職員			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	課の運営を円滑に図る必要がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 （課題が解決した状態）	課の運営が円滑に行われる				
事業概要	課の運営事務				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
指標設定	指標説明												
	指標種類												
	指標数値	目標 (見込み)											
		実績											
	達成度												

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	3.04
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.11
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)			
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額 (参考) 予算執行率
歳出	人件費				
	正職員、再任用、任期付	10,214	11,327	24,001	
	会計年度任用職員	1,712	1,261	259	
	特別職非常勤	0	0	0	
	附属機関委員	0	0	0	
	人件費計	11,926	12,588	24,260	
	物件費計	0	0	0	0
歳出計		11,926	12,588	24,260	
歳入	国庫支出金	0	0	0	0
	府支出金	0	0	0	0
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0
一般財源（物件費に充当されるもの）		0	0	0	0

5. 総括的分析

総括的分析	各課（債権回収課、国民健康保険課、後期高齢者医療課、長寿・介護保険課）において、予算・決算、庶務事務等について適正に執行した。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	担当事務について、関係部署との調整を図りながら、適切かつ効率的に処理できるよう執行体制を整えていく。

事務事業実績測定調査

R5調書番号 960

事務事業名称	国民健康保険料徴収事務									
測定年度	2023(R5)年度		部	市民生活部		課	保険納付課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標		2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち							
	施策目標		6.誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち							
	実行計画名									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的事業	区分	非選択的事務事業
事業期間	不明		年度	～	年度まで
根拠法令等	国民健康保険法、枚方市国民健康保険条例、枚方市国民健康保険条例施行規則、地方税法、国税徴収法等				
関係補助金名称			サンセット		～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	枚方市国民健康保険料の納付義務者			
	サブターゲット	枚方市国民健康保険被保険者			
	ターゲットが抱える課題	保険料の徴収を適正に行うこと			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	保険料を適正に徴収することで、公平性が確保され、保険事業が円滑に実施できている。				
事業概要	国民健康保険料の徴収に係る事務を執行する。 (1) 保険料の収納に関する事務(入金処理及び納付済証明の発行等) (2) 未納保険料に関する督促・催告発送処理事務 (3) 未納保険料に関する滞納処分及び納付相談事務 (4) 保険料の不能欠損処理事務 (5) 保険料過誤納金の還付・充当に関する事務 (6) 保険料の口座振替に関する事務				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
			保険料の現年度徴収率が高水準で維持される。				保険料の滞納処分等を行う。			
指標設定	指標説明		保険料(現年度賦課分)調定額に対する徴収済額の割合 【算出式: 保険料徴収済額/保険料調定額×100】				滞納整理件数			
			単位				単位			
	指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)		93	93	95	95	220	220	850	850
	実績		93	94	95	96	210	280	785	1,188
達成度			101%				140%			

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	14.06
再任用	0.90
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	7.09
特別職非常勤	1.80
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	0	0	115,538		
	会計年度任用職員	0	0	17,566		
	特別職非常勤	0	0	5,109		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	0	0	138,213		
	物件費計	0	0	88,219	124,347	70.9%
歳出計		0	0	226,432		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	340,628	282,618	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	127,628	140,060	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	468,256	422,678	
一般財源（物件費に充当されるもの）		0	0	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析	課題である口座振替の推進については、令和3年度より実施してきた口座振替キャンペーンを令和5年度も実施した。キャッシュレス決裁は令和5年度さらに対象を拡大した。滞納対策としては、通常の催告書に加えて、特に滞納繰越分について差押について記載した特別催告書を精力的に送付した。また、旧債権回収課と連携し高額滞納者の移管を行うとともに、現年度の滞納者も含め給与照会や差押に着手した。令和4年度より導入した財産調査の電子照会も活用し、滞納処分件数の増加に繋がった。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	令和6年度より機構改革により他の保険料（後期高齢者医療保険料、介護保険料）と合わせて保険納付課として所管する。また旧債権回収課の事務も所管するため、これまでの収納対策に加え同課で培われた滞納整理のノウハウを生かし、効果的な催告書の送付や給与照会、差押などの滞納処分に繋げていくことで、収納率の維持向上を目指す。

事務事業実績測定調査

R5調書番号 961

事務事業名称	介護保険料徴収事務										
測定年度	2023(R5)年度			部	市民生活部			課	保険納付課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち								
	施策目標		9.高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的事業	区分	非選択的事務事業
事業期間	2000(H12)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	介護保険法、枚方市介護保険条例、枚方市介護保険に関する規則、地方自治法、地方税法、国税徴収法等				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	介護保険料の納付義務者(介護保険第1号被保険者のみ)			
	サブターゲット	介護保険被保険者			
	ターゲットが抱える課題	保険料の徴収を適正に行うこと			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	保険料を適正に徴収することで、公平性が確保され、保険事業が円滑に実施できている。				
事業概要	介護保険第1号被保険者の介護保険料の徴収に係る事務を執行する。 (1)保険料の収納に関する事務(入金処理及び納付済証明の発行等) (2)未納保険料に関する督促・催告発送処理事務 (3)未納保険料に関する滞納処分及び納付相談事務 (4)保険料の不能欠損処理事務 (5)保険料過誤納金の還付・充当に関する事務 (6)保険料の口座振替に関する事務				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)			アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
					介護保険第1号被保険者に係る保険料の現年度徴収率が高水準で維持される。				保険料の滞納処分等を行う。			
指標設定	指標説明				保険料(現年度賦課分)調定額に対する徴収済額の割合 【算出式:保険料徴収済額／保険料調定額×100】				滞納整理件数			
					単位 件				単位 人			
	指標種類				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	目標 (見込み)			R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
					99.25	99.36	99.37	99.37	15	15	50	50
		実績			99.35	99.42	99.65	99.56	9	38	66	14
	達成度				100%				28%			

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	2.22
再任用	0.03
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.02
特別職非常勤	0.06
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	0	0	17,678		
	会計年度任用職員	0	0	663		
	特別職非常勤	0	0	170		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	0	0	18,511		
歳入	物件費計	0	0	27,619	29,065	95.0%
	歳出計	0	0	46,130		
	国庫支出金	0	0	2,104	2,104	
歳入	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	761	10	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	2,865	2,114	
一般財源（物件費に充当されるもの）		0	0	0	26,951	

5. 総括的分析

総括的分析	滞納者へ送付する督促状や催告書について、年度途中から目につきやすい色付きの封筒で送付するなど工夫した他、納付相談時に原則半年以内に完納に導くよう分割納付の長期化を防ぐ取り組みを行った。滞納繰越分については旧債権回収課に随時案件の移管を行った。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	令和6年度より機構改革により他の保険料(国民健康保険料、後期高齢者医療保険料)と合わせて保険納付課として所管する。また旧債権回収課の事務も所管するため、これまでの収納対策に加え同課で培われた滞納整理のノウハウを生かし、効果的な催告書の送付や差押などの滞納処分に繋げていくことで、収納率の維持向上を目指す。

事務事業実績測定調査

R5調書番号 976

事務事業名称	強制徴収公債権回収支援事務										
測定年度	2023(R5)年度			部	市民生活部			課	保険納付課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		6.計画の推進に向けた基盤づくり								
	施策目標		31.持続可能な行財政運営を進めます								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的事業	区分	非選択的事務事業
事業期間	H25年度(2013年度)		年度	～	年度まで
根拠法令等	地方税法、国税徴収法、地方自治法、国税通則法、枚方市債権管理及び回収に関する条例及び規則等				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	各強制徴収公債権の滞納者			
	サブターゲット	枚方市が徴収する強制徴収公債権の債権所管課			
	ターゲットが抱える課題	滞納整理のノウハウ等の不足により徴収困難な事案を抱えており、徴収率に影響を与えている。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	各強制徴収公債権の徴収率が高水準で維持されている。				
事業概要	市民負担の公平性及び自主財源の確保のため、強制徴収公債権の徴収困難事案について、令和5年度以前に債権回収課へ移管があった事案に係る滞納処分等の継続を行うとともに、債権所管課への滞納整理に係る支援や助言等を行う。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)			アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
					徴収困難事案の徴収率が高水準で維持される。				移管を受けた債権の徴収困難事案に係る滞納整理等を行う。 ※各保険料を除く			
指標設定	指標説明				調定額に対する徴収済額の割合 【算出式:徴収済額／調定額×100】				滞納整理件数			
					単位		%		単位		件	
	指標種類				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値				R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)				70	70	70	70	80	80	20	40
	実績				70	82	68	67	2	1	8	2
達成度					96%				5%			

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.08
再任用	0.01
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.01
特別職非常勤	0.02
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	0	0	682		
	会計年度任用職員	0	0	23		
	特別職非常勤	0	0	57		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	0	0	762		
	物件費計	0	0	25	42	59.5%
歳出計		0	0	787		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
一般財源（物件費に充当されるもの）		0	0	25	42	

5. 総括的分析

総括的分析	保育所運営費負担金等の移管を受け、差押等の滞納処分を実施した。
-------	---------------------------------

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	保育所運営費負担金の既移管分について、滞納整理を進めていく。